

平成13年8月10日
火山噴火予知連絡会

三宅島総合観測班の設置について

三宅島については、これまで大学・研究機関・気象庁等が、火山活動の把握のため、三宅島島内において火山観測を実施してきました。

今般、島内駐在体制が強化されることとなり、三宅島の火山活動の評価のための各種の観測計画等の総合的な検討を行うことを目的として、火山噴火予知連絡会に三宅島総合観測班を下記のとおり設置します。

記

設置目的

三宅島に入島して実施する火山観測について、その計画等の総合的な検討を行う。

代表者

渡辺秀文 伊豆部会長

参加者

火山噴火予知連絡会委員及び関係大学、研究機関等の観測者

観測実施にあたっての部外機関との調整

火山噴火予知連絡会事務局（気象庁）が、総合観測班から提出された観測計画案をもとに、東京都等関係機関と実施にあたっての調整を行うこととする。

幹事

各機関1～2名程度

なお、島内作業に係る手続きについては、これまでどおり気象庁火山噴火予知防災係で受け付け、総合観測班の観測計画として、東京都現地対策本部等との調整を行います。

平成13年8月17日現在

代表	渡辺 秀文	（東京大学地震研究所教授、火山噴火予知連絡会伊豆部会長）
幹事	平林 順一	（東京工業大学火山流体研究センター教授）
同	鍵山 恒臣	（東京大学地震研究所助教授）
同	中田 節也	（東京大学地震研究所教授）
同	村上 亮	（国土地理院地理地殻活動研究センター地殻変動研究室長）
同	篠原 宏志	（産業技術総合研究所地球科学情報研究部門マグマ活動研究グループ）
同	川邊 禎久	（産業技術総合研究所地球科学情報研究部門火山活動研究グループ）
同	鶴川 元雄	（防災科学技術研究所固体地球研究部門総括主任研究員）
同	中禮 正明	（気象庁地震火山部火山課火山対策官）